

松阪市飯高町宮前の建設業・（株）尾鍋組（尾鍋哲也代表取締役社長）が、

盛り土崩壊防止で特許

エコジオ工法を応用 尾鍋組（飯高町宮前）、三重大などと共同で



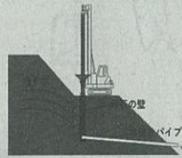
特許証を持つ尾鍋社長（真ん中）と高速道路での施工イメージ図などを持つ担当社員＝市役所で

盛り土の中の地下水を効率的に排出して盛り土の崩壊を防ぐ新技術を、三重大などと共同開発し、特許を取得した。7月に静岡県熱海市で起きた土石流災害では、盛り土崩壊が被害を甚大にしたとみられており、大雨や地震による盛り土崩壊への対策が議論される中、新たな防災技術として注目される。

従来工法



特許工法



尾鍋社長（59）は開発の経緯を振り返り「盛り

土の崩壊防止に、従来の方法では「砕石壁」を造り、その壁の底部にたまった水を、横から差し込んだ水を抜きパイプで排出する工法。特許を得た発明の名称は「砕石構造体の構築方法及び砕石構造体」という。

元気で躍進 地域経済



発行所

夕刊三重新聞社

〒515-0821 三重県松阪市外五曲町15

☎ 代表 (0598) 21-6113

FAX (0598) 21-8500

☎ 編集直通 (0598) 21-6362

電子メール info@yukanmie.com

郵便振替口座 00810-9-13245

夕刊三重トラスト

☎ 代表 (0598) 21-9700

購読料

1ヵ月1700円、1部80円

©夕刊三重新聞社 2021